

平成20年度 事務事業評価シート

事前評価日		平成20年5月19日		No.		3014 16	
基 本 事 項	事務事業名	障がい者地域活動支援センター運営事業		所管部署名	健康福祉部 社会福祉課 自立支援係		
	事業期間	平成20年度 ~ 未設定	事業年齢	0歳	事前評価責任者	岡田忠篤	連絡先 048 - 982 - 9530
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	根拠法令等	障害者自立支援法		
	事務事業の性質	毎年繰り返し		執行方法	全部委託 社会福祉法人の里へ全部委託		
	基本 計画 関係	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
		大綱	元気でやさしさあふれたまちづくり(健康福祉部門)		歳出 予算 科目	事業名	社会参加支援事業
		大柱	みんなが支えあう障害者(児)福祉の推進			会計区分	一般会計
		中柱	地域生活支援			款	民生費
	小柱	施設福祉サービスの充実		項		社会福祉費	
	第4期実施計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	前年度の事務事業 有無・管理番号	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無	
目的 的	対象 (誰を、何を)	身体障がい者手帳を交付されている肢体不自由の方		手 段 (どのような事業 を行うのか)	・創作的活動又は社会適応訓練などの機会を提供する。 ・社会との交流及び参加者同士の交流の促進を図る。		
	意 図 (対象にどのよ うな状態に なってほしい のか)	対象年齢	18 99 18歳以上		事務事業を取巻く 環境の変化・実 施上の課題	障害者自立支援法の施行により、当支援センターは市町村の必須事業となったが、事業目的を達成するために利用者の意思や人権を尊重し常に利用者の立場に立ったサービスの提供に努め、事業内容の充実を図る必要がある。	
類似事業	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無					
業務プロセス(No.・名称)	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無					
事業関連ホームページ	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	http://www.city.yoshikawa.saitama.jp/9,820,53,329.html				

区分	区 分	平成18年度	平成19年度	平成20年度			平成21年度	平成22年度	
		決算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)	当初(千円)	計画(千円)	
投 入 コ ス ト	① 直接事業費			2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	
	② 人件費			521	1,094	1,094	1,094	1,094	
		正職員直接投入人員			0.06人	0.12人	0.12人	0.12人	0.12人
		正職員間接投入人員				0.01人	0.01人	0.01人	0.01人
	③ 間 接 経 費 (加算)								
④ コスト対象外(除外)									
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)				2,921	3,494	3,494	3,494	3,494	
資 源	⑥ 国庫支出金								
	国補助率								
	⑦ 県支出金								
	県補助率								
	⑧ 市 債								
⑨ そ の 他									
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)				5	5	6	6		
受益者負担率(⑩÷⑤)				0.14%		0.17%	0.17%		
C	吉川市年間負担経費(A-B)			2,921	3,489	3,489	3,488	3,488	
D	補助・単 独 区 分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり		<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独					

目 標 設 定 実 績	区分	指 標 名 (上段) 計 算 式 ・ 説 明 (下段)	単 位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
				目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	計画(見込)値	計画(見込)値
対 象 指 標	①	身体障がい者手帳所持者のうち肢体不自由な方	人	-	-	897	986	1,024
		身体障がい者手帳所持者のうち肢体不自由な方		-	-	948		
活 動 指 標	①	利用登録者数	人	-	-	10	5	5
		支援センターを利用する登録者数		-	-	4		
	②	支援センター開催回数	日	-	-	60	61	61
		年間の開催回数(毎週火・木曜日を原則として開催)		-	-	60		
成 果 指 標	①	支援センター参加者数	人	-	-	300	125	125
		延べ参加者数		-	-	125		
	②	利用者役立ち度調査	%	-	-	80	80	80
		アンケート調査において役立つとした利用者の割合		-	-	33		

業績	区分	評価指標名(上段) / 指標の性質(下段)		平成18年度	平成19年度	平成20年度	成果向上とコスト改善ポジション		
	目標達成度	活動結果	① 利用登録者数		評価不可	評価不可		40.00%	
		成果結果	増加することが良いとされる指標					★★ 達成度が低い	
	効率性	結果	単位当たりコスト	トータルコスト × 1,000円	単位	平成19年度		平成20年度	
② 支援センター開催回数				円/日		58,233			
説明	現在、暫定開設のため保健センター機能訓練室を借りて実施しているため、年間開催回数としてはこれ以上は開催できない、また、定員を10人とし事業を実施しているが、自宅から会場までの移動手段や障がい者の方の日の都合などにより、結果として4人の参加者にとどまった。								

官民役割分担評価	公共性		実施主体の妥当性		市の関与の妥当性	受益者負担の妥当性
	特定の個人又は集団に提供されるが、日常生活に必要不可欠なサービス	行政上の専門知識を必要とするが、突出した政策的意思決定を必要としないサービス				

事業性	区分	評価	評価判断理由
	有効性	役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 問題あり
目的(対象・手段)		<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 問題あり	障がい者の自立に向けた支援であり、対象、手段とともに妥当である。
意図		<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 問題あり	法に基づき意図は妥当である。
成果向上の余地		<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	本人の意欲の度合いにも関係するが、より多く参加することで成果向上の余地はある。
上位施策への貢献度		<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	介護負担の軽減に貢献している。
コスト改善の余地		<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	一回の利用料が定められ、利用者負担は利用料の原則1割となっており、コスト改善の余地はない。
効率性	受益者負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	利用者負担を原則1割とし、所得に応じ利用者負担を軽減している。

改革改善	これまでの事業の改善状況とその内容	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 既に改善済 <input type="checkbox"/> 改善を検討したが、実施に至っていない <input checked="" type="checkbox"/> 改善した事項は、ない			
	ニーズ等の状況と課題	現在、保健センター機能訓練室を活動場所として事業を実施しているが、参加者ごとに実施したい内容があるため、アンケート調査の実施によりニーズを把握していく。			
	今後の改革改善策	実施者側が参加者に強制的にプログラムをやらせるのではなく、参加者自身または参加者同士でどのようなプログラムを実施していきたいか、していくかを検討してもらい、自ら実施・運営していくプログラムも取り入れていきたい。			
	改革改善により期待される効果	自ら企画及び運営させることにより、自立心や責任感をより持つことができる。			

事業の次方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了				
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善する(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化する	
	「今後の方針」の説明(計画内容等)					

一次評価日 平成21年6月26日 一次(事後)評価責任者 関根 勇

二次評価	今後の方針	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了				
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善する(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化する	
	説明					

二次評価日